

## 2021年度事業報告書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

### 1 公益目的事業について(演劇の振興事業)

#### 1. 「北海道の演劇の向上事業」演劇の製作公演等による人材育成に関する事業 定款第4条第1号に掲げる事業は、次の計画により行った。

##### (1)演劇の企画、製作および公演による人材育成事業

札幌からの演劇創造と発信を目指して公演を行い、製作公演活動を活用して新たな演劇文化の担い手を育成する研修事業を行った。

2021度は、札幌座という財団付属の創造集団をもとに、新作2作品と再演3作品を実施・計画したほか、研修生を積極的に募集し、演劇製作を通じた人材育成に取り組んだ。

##### ① 【中止】札幌座 Pit「葉桜」「虫たちの日」

作・演出:岸田國士(「葉桜」)、別役実(「虫たちの日」)

演 出:斎藤歩(札幌座)

出 演:西田薫(札幌座)、納谷真大(イレブンナイン)、磯貝圭子(札幌座)、熊木志保(札幌座)

公演日:4月23日～25日(6回) 会 場:シアターZOO(札幌)

※新型コロナウイルス感染症による影響で中止

##### ② 【新作】札幌座第57回公演「劇後鼎談(アフタートーク)」

作・演出:斎藤歩(札幌座)

出 演:斎藤歩、西田薫(札幌座)、磯貝圭子(札幌座)、熊木志保(札幌座)、常本亜実(札幌座)、  
納谷真大(イレブンナイン)、山木将平(ギタリスト)

公演日:8月19日～25日(11回) 会 場:シアターZOO(札幌)

※6月17日～23日に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で8月に延期し公演

入場者数:223人

##### ③ 【再演・配信】札幌座朗読公演「今も逢えない～七夕の憂哀歌」

作・演出:斎藤歩(札幌座)

出 演:西田薫(札幌座)、磯貝圭子(札幌座)、熊木志保(札幌座)、清水友陽(劇団清水企画)、  
納谷真大(イレブンナイン)、山木将平(ギタリスト)ほか

公演日:7月1日～2日(4回) 会 場:札幌文化芸術劇場 クリエイティブスタジオ(札幌)

入場者数:259人 視聴者数:55人

④ 【中止】札幌座第 58 回公演「ひつじが丘」

原 作:三浦綾子

脚本・演出:斎藤歩(札幌座)

出 演:斎藤歩、原子千穂子(札幌座)、西田薫(札幌座)、磯貝圭子(札幌座)、熊木志保(札幌座)、  
常本亜実(札幌座)、山野久治(風の色)、東李苑(クリエイティブオフィスキュー)、  
戸澤亮(クリエイティブオフィスキュー)、大森弥子、納谷真大(イレブンナイン)、  
小島達子(イレブンナイン)、坂口紅羽(イレブンナイン)、内崎帆乃香(イレブンナイン)、  
沢井星香(イレブンナイン)ほか

公演日:9月30日～10月7日(11回) 会 場:シアターZOO(札幌)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、2022年度に延期

⑤ 【再演】All Sapporo Professional Actors Selection vol.3「暴雪圏」

原 作:佐々木譲

脚本・演出:斎藤歩(札幌座)

出 演:斎藤歩、原子千穂子(札幌座)、林千賀子(札幌座)、磯貝圭子(札幌座)、山野久治(風の色)、  
河野真也(クリエイティブオフィスキュー)、舟木健(クリエイティブオフィスキュー)、  
納谷真大(イレブンナイン)、上總真奈(イレブンナイン)、内崎帆乃香(イレブンナイン)、  
小林エレキ(yhs)、山田百次(ホエイ・劇団野の上)

公演日:3月9日～17日(12回) 会 場:札幌文化芸術劇場 クリエイティブスタジオ(札幌)

入場者数:988人

⑥ 札幌座研修事業

新たな人材育成を目的とした研修生システム(公演活動を通して実践的に演劇を学ぶ)による俳優養成を行った。

(通年)。

講師:斎藤歩(札幌座)、磯貝圭子(札幌座)、清水友陽(劇団清水企画)、納谷真大(イレブンナイン)ほか

(2) 演劇による教育普及などの人材育成事業

将来の演劇文化の担い手の育成と演劇の普及啓発のため、初心者から演劇部や演劇活動者、幅広い年齢層と地域を対象に、実績あるワークショップ指導者による演劇ワークショップ、コミュニケーションワークショップを行った。

① 演劇を活用した教育普及・普及啓発事業

新型コロナウイルス感染症の影響で、事業数は減少したが、小中高等学校の演劇初心者を対象に、演劇を活用したコミュニケーション教育および地域コミュニティ形成などの各種ワークショップを行った。このほか、教育の現場以外にも、社会福祉協議会でもコミュニケーションワークショップを実施した。

[実施校ならびに実施団体]

札幌市立厚別高等学校、札幌市立苗穂小学校、立命館慶祥中学校、北星学園女子中学高等学校、紋別社会福祉協議会など

[講師] 斎藤歩(札幌座)、清水友陽(劇団清水企画)、磯貝圭子(札幌座)、西田薫(札幌座)、納谷真大(イレブンナイン)、熊木志保(札幌座)、竹原圭一(REDA KING CRAB)ほか

## ② 演劇ワークショップを通じた普及啓発事業

一般小学生、中学校並びに高校の演劇部および演劇活動者を対象に各種ワークショップを行い、シアターZOOを活用して発表の場を提供する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。

## 2. 「北海道の演劇の向上事業」 演劇等の創造活動の促進支援に関する事業 定款第4条第2号に掲げる事業は、次の計画により行った。

### (1) 扇谷記念スタジオ・シアターZOOの運営、管理

創造力を喚起する魅力的な創造空間を提供し、演劇をはじめ広範な芸術文化活動を振興し、優れた創造活動を地域に興すことを目的として運営、管理する。具体的運営は、運営責任者が運営者の助けを得て行った。

運営責任者: 斎藤歩(北海道演劇財団芸術監督)

運営者: 木村典子(北海道演劇財団プロデューサー)、磯貝圭子(札幌座)、清水友陽(劇団清水企画)、納谷真大(イレブンナイン)

扇谷記念スタジオ・シアターZOOを、①道外の第一級の専門家と協働した上質でオーソドックスな作品創造と上演、②親子で観劇できる良質な作品創造、③中高生たちに演劇専門小劇場での作品創造、④自立した演劇人の育成、⑤若い世代を専門家のいる劇場に招く取り組み、⑥学校現場や地域の集まりに芸術家を派遣、これらの柱に沿った長期的な展望に立った以下の事業を行った。

#### ① シアターZOO 企画公演

精力的に活動する道内外の劇団やアーティストと協力して公演を行うほか、若手劇作家の育成と創造を目的に公演を行う。また、これまで取り組んできた「劇のたまご」を継続し、英語字幕を付けるなど演劇による地域の観光コンテンツを開発するなど、地域の演劇文化の向上を目指した。

8月	劇のたまご「ぐりぐりグリム～ねむり姫」(札幌)
10月	MILKY WAY PROJECT「朗読・銀河鉄道の夜」(小樽・東京)
11月	高校演劇解放区 <u>※中止</u>
1月	札幌座「背中から四十分～道北オロロン街道編」(札幌・青森)
2月	シアターZOO ダンスクリエイション「DANCE(R) BECOMING」(札幌・東京) <u>※中止</u>
3月	札幌座&イレブンナイン「こちよのゆめみたいな」(札幌)

② シアターZOO 提携公演

札幌を代表する中堅劇団(劇団清水企画、弦巻楽団)やダンスカンパニー(micelle)、道内外で精力的に活動する劇団およびアーティストと提携し、演劇文化の向上を目指した。

7月	風蝕異人街「ザ・ダイバー」(札幌)
10月	micelle「サッポロ・ダンスポート・プロジェクト2021」(札幌)
	万博設計「北海道関西 短編同作品連続上演演劇祭(仮)」(大阪)
11月	座・れら「おやすみ、母さん」(札幌)
12月	劇団清水企画「だれば箱づめの亡者」(札幌)
3月	弦巻楽団「舞台に立つ～ロミオとジュリエット」(札幌)

③ シアターZOO 寄席

定期的に「寄席」を開催し、地域住民とのコミュニケーションを図る。

[時期・回数] 0回

※新型コロナウイルス感染症の影響で中止

④ 札幌劇場祭(TGR)参加公演

[参加団体] 座・れら、イレブンナイン

[時期] 11月1日～12月5日

(2) サンピアザ劇場企画公演プレミアムステージの企画運営

札幌副都心開発公社と協力し、プレミアムステージの企画運営を行った。

3. 地域における演劇に触れる機会の提供に関する事業

定款第4条第3号に掲げる事業は、次の計画により行った。

(1) 地域文化活動の担い手の育成

各地の公共ホール運営団体や文化団体の企画担当者に、文化事業実施に関する情報やノウハウの提供を行い、地域における有益な文化活動を推進する担い手の育成を目指した。

(2) 各地域の自治体および団体による公演活動

地域の人々のつながりや個性ある地域社会をつくるために有効な文化事業を提案するために、地域を訪問し、2022年度以降の活動へとつなげた。

#### 4. 演劇等の創造環境の充実及び市民活動の育成に関する事業

定款第4条第4号に掲げる事業は、次の計画により行った。

##### (1) 市民活動との協力

市民による文化的まちづくりの充実を図るため、「特定非営利活動法人札幌座くらぶ」と提携し、情報交換会「シアターZOO サロン」の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。また、ボランティア組織（「清田演劇のつどい実行委員会」「江別演劇プロジェクトWinds」）などと協力して札幌市内および近郊での演劇の普及活動をおこなう予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。演劇創造都市札幌プロジェクトなど、北海道における演劇を取り巻く環境の改善を目指し活動する市民組織の活動を支援した。

##### (2) 広報紙の発行

内容を充実させ、より広報活動に使用できるものとした。

[発行回数] 年2回(4月、10月)

[発行枚数] 各500部

## 2 収益事業について

#### 1. 演劇等の創造活動の促進支援に関する事業

定款第4条第2号に掲げる事業は、次の計画により行った。

##### (1) 劇場とスタジオ1・スタジオ2の貸与

地域の劇団や文化団体などに活動の場を提供するため、所有する扇谷記念スタジオのシアターZOOとスタジオ1とスタジオ2を主に道内の劇団や文化団体に貸与した。

#### 2. 演劇等の創造環境の充実及び市民活動の育成に関する事業

定款第4条第4号に掲げる事業は、次の計画により行った。

##### (1) 会計入力等経理全般事務の受託

同じ目的を持つ芸術文化団体には財政基盤の弱いところが多い。このため芸術文化活動を継続し、展開するために必要な会計処理等経理事務の人員配置が困難な団体から、会計入力等経理全般事務を受託した。

[受託団体] 特定非営利活動法人札幌座くらぶ